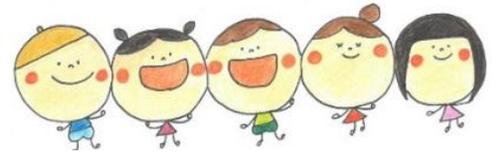




むぎのほ



かいかんだより

子ども家庭支援センター麦の穂
 中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内
 TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139

2021年 5・6月
 第255号

今年は例年に比べとても早い梅雨入りでしたね。花や野菜の苗は恵みの雨を受けて、生き生きとしています。コロナ禍に加え、子どもたちがお家の中で過ごす時間がますます増えがちですが、梅雨の中休み、思いっきり外で体を動かしたり、お家あそびを取り入れてみたり。リフレッシュしながら過ごしたいですね。



♪麦の穂会館のご紹介♪

コロナ禍であっても、麦の穂会館を安心・安全に利用していただけるよう、県からの補助金を活用し、衛生備品を完備しました。また、オンラインでの研修や各種会議が開催できるよう、全館 wi-fi 環境も整備。日々の消毒も職員一同で取り組んでいます。そんな中、長年麦の穂を支えて下さっているボランティアの方から、かわいらしい動物たちの寄付をいただきました。コロナで気分が滅入りがちなお親子が会館に来てあったかい気持ちになれるように、職員もホッと一息つけるように…優しいお心遣いがとてもありがたく、ほっこりした気分になりました♪



「80kgまで」大人が乗っても大丈夫！毎日癒されてます♪

利用頻度が高いお部屋に空気清浄機を、トイレには手指殺菌エアタオルを設置。換気のために玄関はじめ、各お部屋の網戸も新調しました。

○子ども家庭支援センター麦の穂をご利用下さい○

- ✿子どもと家庭に関する電話・訪問・来所相談
- ✿里親支援に関する事業、里子・里親の支援
- ✿地域支援事業・健全育成事業
- ✿子育てサークル活動への支援、居場所提供
- ✿講演会・学習会の企画・実施など





子どもから様々なサインがある表現について

子どもが遊んでいる時に、大人が黙って近づくと、ぎゃあと泣く子、母親が離れると〈ママ・ママ〉と言って泣き叫ぶ子、同じ年齢の子どもが傍に行くと手で押ししたり、たたいてあっちに行けとサインを出す子、二歳児に〇〇してというといわれただけでパニックになる子、泣いている子を見ると〈大丈夫・大丈夫と身体をさする三歳児、ニコニコして近づく人にはおはようと挨拶する子など二歳・三歳になると様々な表現を大人に見せる子どもたちです。

このように三歳前後になると**人とかかわるとき**に、過敏に反応ある子、黙ってしまう子など個人差が見られます。保育のなかでいうことを聞かないで、自分勝手な行動をしている子を見て、周囲の大人・先生はその子のお母さんに「甘やかしていたからダメなんですよ」「約束しないからダメですよ」「きちんと叱って育てないからわがままになりますよ」といった言葉を親に伝えて、**心を傷つけて**しまっても気づかない先生や近所の親がいると、もうこの先生には相談したくない、こんなおばさんやおじさんには絶対会わせたくないといった心情になっている子どもの家族が多くいます。

家庭環境や育て方だけの問題と**自分勝手な判断し、そのこどもの正しい情報を得ないでレッテルを貼ってしまう教育や社会の環境を見直したいものです**。人に敏感なために友達や大人が近づきすぎると怖くて、近寄らないでという言葉が出ないために泣くしかできない子がいます。新しい集団に入ったために、「ママ、置いていかないで」と言えないために泣くしかできない子がいます。「触らないで・見ないで・近寄らないで」という日本語が獲得していないためにその場から離れたり、あっちへ行けと押ししたりする子もいます。また、人との距離感が取れなくてフラフラしたり、クラスから飛び出たりするタイプもいます。

人やクラスの雰囲気とかかわるときに、**子どもの育った環境やしつけられ方、子どもの資質と能力を正しく理解してかかわることが大事**と言えます。

大切なかわり方として約束があります。**約束はわかる言葉で優しく・丁寧に・言いつばなしにしないという原則**を持ちたいものです。約束をしていないと叱ることはできません。さらに、約束をしたことを子どもは守った時に〈〇〇できてお利口だね・優しく片付けることができてすばらしいね〉といった、できているのが当たり前ではないことを**きちんと認めることが重要**です。新しい環境で刺激が強すぎる場合には、そばで見ているだけでいいよ・声を聴いているだけでいいよ・少しだけでもいいよ・失敗しても大丈夫・ひとつだけでいいよと優しく、笑顔で伝えて、時間をかけて**新しい環境に慣れる力があることを信じる**ことです。

可愛いなと笑顔でいることで子どもは泣かないで、怒らないで、乱暴にならないで、逃げないで新しい人や雰囲気に溶け込んでいきます。

